

## 教育委員会臨時会議事録

**会議名** 教育委員会臨時会  
**開催日** 令和元年7月29日（月）午後1時30分～午後4時32分  
**開催場所** 総合教育研修センター  
**出席者** 高須教育長、真野教育長職務代理者、藤田委員、玉井委員、坂本委員、秋元委員

### 事務局等出席者

田井教育監兼総合教育研修センター所長、野呂教育監、山口教育指導課長、遠藤総合教育研修センター課長、平野教育指導課係長、中村教育政策総務課係長、坂口（教育政策総務課担当）

### ○高須教育長

ただ今から、小学校教科書採択のための教育委員会臨時会を始めさせていただきます。

本日の案件は、議決事項が1件でございます。

本日の署名人は、真野教育長職務代理者をお願いいたします。

まず、本日の配布資料について確認いたします。

事務局から説明をお願いいたします。

はい、山口課長

### ○山口教育指導課長

本日の配付資料は、教育委員会臨時会の議案書でございます。

以上でございます。

### ○高須教育長

それでは、議案書1ページ、議案第28号、令和2年度使用小学校教科用図書の採択についてを議題といたします。

事務局から説明をお願いいたします。

はい、山口課長。

### ○山口教育指導課長

ただ今ご上程いただきました、議案第28号、令和2年度使用小学校教科用図書の採択について、令和2年度使用小学校教科用図書の採択を行いたく、教育委員会の議決を求めるものでございます。

提案理由といたしまして、令和2年度使用小学校教科用図書の採択のためでございます。

以上でございます。

### ○高須教育長

それでは協議を行っていきたいと思います。

ただし、教科書は全てで13種目あり、種目の中には、見本本の発行者が多い種目もごございます。見本本の発行者が多い種目につきましては、前回の小学校教科書採択同様、3社程度に絞って、最終的に1社を採択したいと思いますが、いかがでしょうか。

### ○真野教育長職務代理者

今、教育長がおっしゃったように、発行者が多い種目につきましては、3社程度に絞って、最終的に1社を採択する方法が良いと思います。

### ○藤田委員

私もそれでいいと思います。

### ○玉井委員

内容について、まだ不明な点は、その都度ご質問させていただいてよろしいでしょうか。

### ○高須教育長

本日は、調査員の長でもある、校長先生にも来ていただいています。必要であれば事務局や、調査員にも質問させていただいて結構です。

それでは、まず各種目3社程度に絞って協議を進め、最終的に本市の子どもたちに一番適している教科書を採択してまいりたいと思います。

なお、協議に入る前に、教科書の発行者名を略称で統一させていただきます。

東京書籍は東書、大日本図書は大日本、開隆堂は開隆堂、学校図書は学図、三省堂は三省堂、教育出版は教出、教育芸術社は教芸、光村図書は光村、帝国書院は帝国、啓林館は啓林館、日本文教出版は日文、文教社は文教社、光文書院は光文、学研教育みらいは学研、廣済堂あかつきはあかつきと呼称することとします。よろしく願いいたします。

それでは、はじめに、種目「国語」について、協議してまいりたいと思います。現行は光村を使用しております。発行者は4社です。

次年度から本格実施となる新しい学習指導要領においても、国語科は言語能力育成の要として位置付けられております。

言語活動の充実はもちろん、基礎基本を徹底し、「生涯にわたって学び続ける力」を身に付けるためにも、子どもたちにとって、楽しく、わかりやすく、かつ主体的に学習に取り組むことができるものを選んでいきたいと思います。

それでは、各委員のみなさんより、御意見を願います。

はい、藤田委員。

### ○藤田委員

どの教科書会社も、各学年の巻頭で一年間の学習の見通しを示し、子ども達自身が確認できるようになっているのが印象的でした。また、各単元で目標を示したり、教材の後ろに、手引が書かれていたりするので、子どもたちが、「何を学ぶのか」、

「どのように学ぶのか」そして、「何ができるようになるのか」がとても意識しやすいと感じました。さらに、各社とも、学んだことを他の教科や生活に生かすことができるようなコラムが設定されていました。

中でも、東書は、全ての学年の冒頭と単元末に「言葉の力」が示されており、より意識して取り組みやすいように感じました。

#### ○真野教育長職務代理者

学図は、手引の中で、挿絵を入れ替えたり、文章を並べ替えたりすることで、教材全体を見通し、概要を捉えながら取り組むことにつながる学習方法を、積極的に取り入れられていて、わかりやすく指導できるのではないかと感じました。

#### ○玉井委員

わかりやすいという点では、各社とも一年生の入門期に少しずつ言葉にふれられるように工夫されていましたが、特に光村は、鉛筆の持ち方が例示されていました。

また、QRコードが記載されていて、デジタルコンテンツでも動画で、持ち方が確認できるようになっており、先生方の指導の際に活用できるのではないかと感じました。

#### ○秋元委員

光村は、「話すこと・聞くこと」の単元等でも、動画を活用して子どもたちに具体的なイメージを持たせて、指導できるように工夫されていました。

他の教科書会社も、QRコードを掲載し、デジタルコンテンツを利用できるようになっていましたが、漢字指導、作者や筆者についての資料や音声教材等が多いように感じました。

動画の活用については、光村の大きな特徴であると感じました。

#### ○高須教育長

経験の浅い先生が多くなっている現状の中で、動画で具体的に示すことができるのは、先生方にとって、とても指導しやすいように感じます。本市には、全ての教室に電子黒板等のICT機器が配置されていますので、有効に活用できるのではないかと思います。

他に御意見はございますか。

#### ○坂本委員

主体的に学ぶという観点でいうと、子ども達の興味関心のある題材が取り扱われている方がいいと思うのですが、その意味で、東書の6年生には、インターネットの投稿を読み比べる教材が掲載されていて、とても印象的でした。保護者の立場からすると、このような学習を積み重ねることで、物事をさまざまな立場から見るようになるのではないかと感じました。

また、3年生から系統性を持たせて、読み比べの教材を設定しているところもいいと思います。3年生は「ほけんだより」、4年生は「広告」、5年生は「新聞」、6年生は「インターネットの投稿」という順序で取り扱われていて、比べて読むことで、

さまざまな書き手の意図を考慮することができるように工夫されていました。

**○真野教育長職務代理人**

系統的な指導ということだと思いますと、東書と光村は、既習事項をいかして学習を進めることができるよう工夫されていました。

具体的にお示ししたいのですが、よろしいでしょうか。

**○高須教育長**

結構です。事務局準備をお願いします。

**○真野教育長職務代理人**

それでは、東京書籍は6年生の112ページ、光村図書は6年生の217ページを示していただけますでしょうか。

**○高須教育長**

真野教育長職務代理人、続けてお願いします。

**○真野教育長職務代理人**

東書は、単元の最初に「覚えているかな」を掲載し、その単元の前に学んだ言葉の力を振り返りながら、学習を進めることができます。また、巻末272ページからは、前の学年で学習した「言葉の力」を掲載しています。6年生であれば、「5年生の教科書の何ページで学んだことなのか」も記載されていて、非常に丁寧です。

光村も、「これまでの学習」として、学んだことを振り返ることができるように工夫しています。巻頭に前の学年での学びをまとめるとともに、巻末の248ページからは、「たいせつ」のまとめを掲載し、当該学年で学習する大切なことをまとめています。

国語科は、螺旋的で反復的な学習を通じて、言葉の力を定着させていく教科ですので、この2社の配列は、学習を進める上で、非常に有効ではないかと感じました。

**○高須教育長**

これもまた、経験の浅い先生にとっては、前の学年での学びを確認しながら指導できるので、指導の積み上げがしやすくなるのではないかと思います。

調査員の報告や学校所見等も踏まえると、東書、光村の評価が高いように感じますが、この2社に絞って、もう少し議論していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

**○高須教育長**

それでは、続けて御意見いただけますでしょうか。

はい、坂本委員。

**○坂本委員**

私は、東書が1年生から6年生の全ての学年で、ノート例を示しているところが、子どもたちにとっても先生方にとっても非常にわかりやすいように感じました。

このような例が掲載されていることで、基礎基本を徹底して指導することにつなが

るのではないかと思いました。

#### ○秋元委員

私もノート指導については、東書がとてもいいと思いました。また、東書は、「本は友達」を設定して、子どもたちになじみのある本の著者の考え方にふれることができるようになっていて、子ども達の意欲向上につながるように感じました。

#### ○高須教育長

話し合い活動や、子どもたちの論理的思考力の育成という観点では、いかがでしょうか。

#### ○藤田委員

2社とも、系統立てて話し合いを進めることができるように単元を配置しています。6年生での取り扱いでは、東書は、話し手の考えと自分の考えを比べることを通して光村は賛成・反対の立場から、互いに意見を出し合う場面を通して、自分の考えを深める言語活動を取り扱っています。

#### ○秋元委員

論理的思考という観点では、光村の巻頭等に配置されている、「情報」のコラムが良いと感じました。

コラムに掲載されている、思考ツール等を活用することで、論理的思考を発達段階にあわせて身に付けていくこともできるのではないかと感じました。

#### ○高須教育長

内容の程度に関しては、いかがでしょうか。

#### ○玉井委員

東書は、全体的に内容が高度なように感じています。一年生の説明文教材「いろいろなふね」では、他の教科書会社の、「くらべて読む」「図鑑をつくる」という説明文教材と比べても、読み取る観点が3つ設定されており、1つ多くなっていました。

#### ○高須教育長

藤田委員は、元教員の立場として、どのような御意見をお持ちでしょうか。

#### ○藤田委員

玉井委員のおっしゃるように、確かに東書は、高度なように感じました。例えば、要約については、東書は3年生下巻から要約してまとめるという取り扱いになっています。一方光村は、4年生上巻のコラムで、既習教材を要約する活動を取り入れ、その後、4年生下巻で、再度、長文を要約する活動につなげています。また、その後の説明文教材でも重ねて要約する力を活用できるようにするなど、非常に丁寧に取り扱われています。

3年生以上の最初の説明文教材の前に、練習用の短編教材を配置し、長文を読む上での学び方を学ぶことができるよう、工夫されているのも印象的でした。

#### ○高須教育長

これまでの議論をまとめると、東書も、ノート指導や読書活動等においては、優れているということですが、話し合い活動や論理的思考の観点、教材の内容の程度等を考えて、光村が良いのではないかとおもわれますが、いかがでしょうか。

**○玉井委員**

私は、光村がよいと思います。先ほど、秋元委員がおっしゃっていた、デジタルコンテンツもとても丁寧だと感じますし、「話すこと・聞くこと」についての動画が掲載されていて、子どもたちにとってもわかりやすく、教員にとっても指導の積み重ねがしやすいのではないかと思います。

**○坂本委員**

主体的・対話的で深い学びを進めていく上で、基礎・基本の指導につながっていくように感じますので、東書もいいですが、光村の方が、より適しているのではないかと感じます。

**○秋元委員**

私も光村が適当ではないかと思います。いかがでしょうか。

**○高須教育長**

それでは、皆さん光村という御意見のようですので、国語の教科書は光村を採択するというところで、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○高須教育長**

御異議なしと認めます。よって国語は、光村図書を採択することに決めます。

次に、種目「書写」について、協議してまいりたいと思います。現行は光村を使用しています。発行者は5社です。

御意見がありましたらお願い致します。

**○藤田委員**

各社とも各学年で適切な指導内容が取り上げられており、学習のポイントがきちんと明示されていました。毛筆の学習から硬筆へつながるように工夫され、児童が進んで学習できるように工夫されているなというのが正直な感想です。

そういう意味では、どれも素晴らしい教科書だと思いますが、選定委員会からの答申、調査員の報告などでも、東書、教出、光村の教科書はおおむね評価が高かったように思います。

**○高須教育長**

藤田委員からは、東書、教出、光村の3社という意見が出ていますが、いかがですか。

**○秋元委員**

私も、特に東書、光村は、毛筆の学習から硬筆へつながるように工夫されており、よかったように思います。

**○高須教育長**

他に御意見はございませんか。

では、ないようですので、東書、教出、光村の3社について、検討を進めていきたいと思えます。

まず、書写の学習のポイントとして「実生活や学習場面に役立つよう、内容や指導の在り方の改善を図る」ということが学習指導要領にも示されています。

この点について、御意見をお願いできますでしょうか。

#### ○玉井委員

どの教科書を見ても、手紙やチラシを書いたり、ポスターを描いたりするなど、実際の日常生活や学習活動に関連付けて、学習したことを表現する活動が取り入れられていました。

学習指導要領にも「目的に応じて使用する筆記具を選び、その特徴を生かして書くこと」と示されていますが、それぞれにふさわしい筆記具や用紙なども示されており、それぞれの特徴を生かし、表現できる工夫がされていると感じました。

#### ○秋元委員

光村は、手紙を書く際には、用紙全体との関係に注意し、文字の大きさや配列等を決めて書くことが取り上げられていて、読みやすい紙面構成を意識する指導もあります。

#### ○坂本委員

東書では、「生活に広げよう」というページで、絵日記、作文、ノートの書き方、リーフレットなどが取り上げられていました。光村では、社会や理科などの関連教材を設け、防災を扱ったノート例を取り上げるなど、他教科の学習と関連づけられていました。

#### ○真野教育長職務代理者

どの教科書も身の回りの文字や世界の文字に目を向けさせ、実生活における文字への興味をもつように工夫されていました。また、どの教科書にも行書が紹介されており、中学校への学習の興味づけが感じられます。

#### ○高須教育長

その他、子どもが学習しやすいように配慮されていることがあれば、御意見を願います。

#### ○藤田委員

学習指導要領には、「姿勢や筆記具の持ち方を正しくし、文字の形に注意しながら、丁寧に書くこと」が示されています。

この点についてですが、3社とも、すべての児童にとって使いやすく分かりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色等が配慮されており、写真やイラストを使用して、具体的に分かりやすく示されたりしていました。

#### ○高須教育長

今、姿勢や筆記具の持ち方の話が出ましたが、他の皆さんはどのように感じられま

したか。

#### ○秋元委員

東書は、左利きの児童に対する配慮が、特に優れているように感じました。

光村は、正しい持ち方を示す写真や、紙を押さえる挿絵なども使われており、文字を書くときの位置を確かめやすくしていると感じました。

#### ○坂本委員

教出では、毛筆学習の基礎となる「用具の扱い方」「よい姿勢と持ち方」の要点が、発達段階に応じて掲載されていることや、鉛筆と箸の持ち方を連動させて取り上げられているところが優れていると感じました。

#### ○高須教育長

新学習指導要領でも示されていますが、子どもたちの主体性を高めるためには、めあての設定など、子どもたちがこの学習を通して、「何を学び、何ができるようになるのか、どのように学ぶのか」という視点を意識することが必要だと思いますが、その点については、いかがですか。

#### ○真野教育長職務代理者

光村は、学習を通して身につける力を単元名としていたり、高学年では、小学校書写における到達目標を、単元名としていたりして「何を学ぶのか」が明確に示されています。

また、各学年の巻頭に、前学年のまとめが示されており、前学年の学習を踏まえて、次の学年の学習が進められるように配慮されていると感じました。

#### ○玉井委員

東書も3年以降では、単元ごとにページの左端の部分に、インデックスが設けられており、それぞれの教材で学習する内容とこれまでに学習した内容が示されています。

#### ○高須教育長

そろそろ結論を出したいと思いますが、御意見をお願いいたします。

#### ○藤田委員

各社とも、様々な工夫がされていましたが、正しい姿勢で執筆することや、なぞり書きや空書きなど、指でなぞって筆使いを確認する活動を随所に位置づけ、「とめ」や「はらい」の書き方を理解できるような工夫が特にされているという点で、光村が適当ではないかと思えます。

#### ○真野教育長職務代理者

私も光村が良いと思えます。

#### ○高須教育長

光村が良いという意見が出ておりますが、他にございませんか。

#### ○玉井委員

東書も良いとは思いますが、藤田委員が先ほどおっしゃった工夫も考えると、光村がより適していると思えます。



**○高須教育長**

それでは、書写の教科書は光村を採択したいと思いますが、御異議ございませんか。  
(「異議なし」の声あり)

**○高須教育長**

御異議なしと認めます。よって書写は、光村図書を採択することに決めます。

次に、種目「社会」について、協議してまいりたいと思います。現行は日文を使用しております。発行者は3社です。

みなさんの御意見はいかがですか。

**○真野教育長職務代理人**

各社とも、選定資料や調査事項にも見られますように、社会科の用語として重要な言葉について、本文外に「ことば」や「キーワード」として取り上げ、基礎的・基本的な知識の定着を図る工夫がされています。

また、児童の疑問や問いから学習問題をつくり、調べたりまとめたりすることを通して社会生活の理解や技能の定着を意識した構成になっています。

特に、東書や日文では、学習指導要領にも示されている「社会的な見方・考え方」の具体的な表示が多数見られ、多角的に考えたり、公正に判断したりできる工夫が随所に見られました。

**○高須教育長**

具体的には、どのあたりでそのように感じられましたか。

**○真野教育長職務代理人**

例えば東書では、キャラクターの表示の仕方によって、「空間」「時間」「相互関係」の観点が示されています。これらの観点をいかして、問題解決的な学習を効果的に進めていくことができるのではないかと思います。

**○秋元委員**

真野教育長職務代理人がおっしゃった部分で言うと、日文では、「空間」「時間」「関係」の観点を文字でも表記し、社会的事象に対しての視点を分かりやすくする工夫がされています。

**○高須教育長**

そのほかに御意見はございますか。

**○藤田委員**

確かに、各社とも学習課題を、児童の疑問や問いから設定することについて力を入れているように感じます。

私は、秋元委員がおっしゃった、日文の「社会的な見方・考え方」について、特に文章の内容が具体的であるので、子どもたちの思考を深めることにつながっていくと思います。

**○玉井委員**

各社とも配慮が見えるのは、間違いはないのですが、学校所見や調査員からの報告で

も評価の高かったのは、東書と日文だったように思いますが、いかがでしょうか。

**○坂本委員**

私もその2社の評価が高かったように思いました。

**○高須教育長**

今、東書と日文の2社が評価が高かったとのことですが、この2社について見たいと思います。

御異議がないようでしたら、東書、日文の2社について、いくつかの観点から検討していきたいと思いますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、東書、日文の2社にしぼって、検討してまいりたいと思います。はじめに、社会科では人権への配慮も大切な視点だと思えます。この点について、御意見をお願いします。

**○真野教育長職務代理者**

東書は、人権啓発のまちづくりの例として、「人権スタディツアー」を取り上げるなどの配慮が見られます。

日文は「子どもの権利条約」や「障害者差別解消法」を紙面に広く紹介し、人権学習や平和学習へつながる配慮がみられます。

**○坂本委員**

自治体の活動や、子どもに対する人権などについて学習することで、自分のこととして人権尊重の考え方を捉え、これからの生き方につなげていくというのは大切なことだと思えます。

**○高須教育長**

世界の中の日本という意味で、色々な国との関わりについて、しっかりとふまえておかないといけないと思うのですが、そのあたりはいかがでしょう。

**○秋元委員**

2社とも様々な国を取り上げ、日本とのつながりや文化の違い、人々の暮らしについて理解を深める工夫がされています。

**○真野教育長職務代理者**

東書では、「アメリカ、韓国、中国、サウジアラビア」の資料を取り上げ、日文では、「アメリカ、韓国、中国、ブラジル」の資料を取り上げていました。2社とも日本と外国とのつながりを理解し、子どもたちが世界の中での日本について意識できるよう配慮がされていると感じます。

**○高須教育長**

子どもたちが実際に使う教科書の「見やすさ」や「わかりやすさ」、つまり、文章表現や写真、イラストなどの構成も重要な要素となりますが、この点について、御意見をお願いします。

**○玉井委員**

2社ともわかりやすい文章表現で、子どもの発達段階に配慮した文章記述になっていると思います。子どもが親しみやすいイラストやキャラクターを配置し、学習効果を高める工夫をしている点でも、共通しています。

#### ○真野教育長職務代理人

2社ともワイド版で見開きページも含め、写真やイラスト等の資料が大きく見やすくなっています。その中でも、日文は、本文のフォントの大きさを「学習活動」「子どもの発言」「学習内容」で区別し、一目でわかる工夫がされています。

また、日文では、近畿圏の資料の取り扱いが多いのも特徴で、問題を身近に捉えやすいと思います。

#### ○坂本委員

私も日文の構成は、大きな紙面をうまく利用して、子どもたちにとって、学びやすい構成になっていると思います。身近な近畿圏の資料が多いのも、子どもたちに親近感が湧く要素になると思います。

#### ○秋元委員

教科書の構成という面では、5・6年の教科書の違いもありました。

東書は、2巻構成になっており、持ち運びの面で配慮されています。

日文は、1巻構成ですが、学習をさかのぼったり、関連付けたりするのには効果的であるように思います。

#### ○高須教育長

それでは、観点を変えて、学習指導要領のポイントとしてあげられている問題解決的な学習について、御意見をお願いします。

#### ○真野教育長職務代理人

そのあたりは、2社とも問題解決的な学習を意識した単元構成になっていました。

東書では、各学年の最初の単元に、見開き「学習の進め方」を設け、「つかむ」「調べる」「まとめる」「いかす」という学習段階を明示し、問題解決の流れにそった主体的な学習の展開を促す工夫がされていました。

日文では、話し合いから学習問題をつくり、学習計画を立て、ふり返しを行う、という展開で構成され、主体的に学習を進めるような配慮があります。

#### ○高須教育長

学習指導要領がめざす、子どもたちの考える力が深まるような工夫がされているということですね。

#### ○藤田委員

私もそう思います。特に日文は、「わたしの問題」で学習課題を示し、「友だちの発言」を通して考察し、「ふり返し」での言語活動でまとめており、子どもたち一人一人の実態に応じた授業構成がしやすいのではないかと思います。

#### ○坂本委員

子どもたち、一人一人の学力の定着・向上を図るには子どもたち一人一人の個に応

じた指導は、とても大切なことですね。その点では、日文は優れていると思います。

#### ○高須教育長

御意見を伺ってまいりましたが、そろそろ結論を出してまいりたいと思います。  
玉井委員はいかがですか。

#### ○玉井委員

そうですね。東書は、教科書の巻末に「学年で学んだこと」を配置し、学年の学習のまとめをされていて分かりやすいと思いますが、全体としては、日文がいいのではないかと思います。

#### ○真野教育長職務代理者

2社とも工夫がされているのですが、日文は、単元末の「わたしたちの学びを生かそう」や随所にある「やってみよう」で発展的な学習の内容を示しており、子どもたちの学習の深まりへの配慮がなされていることから、日文が良いと思います。

#### ○藤田委員

紙面構成や資料の提示は、学習する子どもたちにとって、イメージするための非常に大切なものであると感じます。紙面構成の見やすさ、課題の設定の仕方など、総合的には、日文が良いと思います。

#### ○高須教育長

それでは、結論を出したいと思います。

総合的に日文が良いという意見が多かったようですので、社会の教科書は、日文を採択するというところで、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

#### ○高須教育長

御異議なしと認めます。よって社会は、日本文教出版を採択することに決めます。

次に、種目「地図」について、協議してまいりたいと思います。現行は帝国を使用しており、発行者は2社です。

地図帳は、社会科の教科書と、いかに関連させながら使用できるかという視点からも、両社の地図帳を見ていく必要があります。

委員の皆さん、御意見をお願いします。

#### ○坂本委員

両社とも、都道府県図、日本全図、世界大陸図や歴史・統計などは、必要な内容をうまくまとめており、写真や図などを効果的に使用して、分かりやすくまとめられています。

また、両社とも文字の書体や大きさが適切で、子どもたちにも見やすくなっています。

#### ○藤田委員

どちらの地図帳も、カラフルで見やすくできています。

特に東書は、アイコンがたくさんあり、地域の特産物や特徴が分かりやすくなっ

ています。また、多くの場面で登場するキャラクターの吹き出しによって解説や質問が多く、補足的な学習にも活用できるように構成されています。

#### ○玉井委員

確かに東書は、アイコンやキャラクターが多く掲載されて、工夫がされています。帝国は、学校の所見では「平野や山地の色合いが薄く、文字や特色が目立つようになっていて、見やすい」とありました。その点に関していえば、私も同じように感じました。

地図帳は、子どもたちが「読んで学習する」よりも「見て学習する」ことが多いと思います。どう思われますか。

#### ○秋元委員

「見て学習する」という点では、アイコンの数なども大切ですが、地図上の色合いなども大事な要素だと思います。

#### ○坂本委員

その点でいうと、具体的に見比べていただきたい箇所があるのですが、よろしいでしょうか。

#### ○高須教育長

事務局、準備をお願いします。

#### ○坂本委員

東書の45ページ～46ページ、帝国の59ページ～60ページをお願いします。

帝国は、地図上の色分けがはっきりしているのが、お気づきいただけだと思います。

#### ○真野教育長職務代理者

確かに東書はアイコンが多く、たくさんの情報がありますが、帝国は土地利用ごとの色分けがはっきりしており、さらに、山地の高低差が分かりやすくなっているのがよく分かります。

#### ○秋元委員

世界地図においても、同じような特徴がありますね。

#### ○高須教育長

東書の85ページ、帝国の63ページも同様の特徴がありますね。

両社の創意工夫や内容という点に関してはいかがでしょうか。御意見ををお願いします。

#### ○藤田委員

創意工夫の点では、東書は、Dマークがあるページでは、地図に関連した内容について、インターネットを活用して学習できます。

一方、帝国では、QRコードから読み取ることができ、関連したクイズに取り組むことや、「地図マスターの道」で子どもの意欲を高める工夫がされています。

#### ○玉井委員

インターネットを活用して、楽しみながら家庭学習に取り組める点は素晴らしいと思います。

#### ○真野教育長職務代理者

内容についてですが、地図帳は新学習指導要領では3年生からの活用になります。そのため、両社ともスムーズに導入できるよう、見やすい地図を載せていると思います。

また、帝国では、「地図のやくそく」や「地図帳の使い方」などに関し、約10ページを使い、丁寧に使用方法について説明がされています。

#### ○坂本委員

学習指導要領では、「児童の考える力」や「考えたことを表現する力」が重視されていたと思います。

そのためには、子どもたちが学習課題について、十分調べることができるように、産業・歴史・文化など、豊富な資料が分かりやすく配置されていることも重要ではないかと思います。

#### ○高須教育長

坂本委員から意見がありましたように、調べ学習に使用することを考える必要がありますね。その場合の資料としてはいかがでしょうか。

#### ○藤田委員

どちらも地理学習・歴史学習に必要な資料は豊富に扱っています。都道府県の統計資料を見比べたときに、帝国は項目が充実しており、グラフを活用して生産額などが分かりやすく表示されています。

#### ○秋元委員

両社とも、児童などのキャラクターが登場し、学習へのヒントや補足をコメント形式で提示しています。

また、帝国には「防災マップづくり」という項目があり、テーマ決定から調査・発表までの調べ学習について、補助教材としても活用できるようになっています。

#### ○高須教育長

いろいろな意見があると思いますが、そろそろまとめていきたいと思います。

#### ○坂本委員

今までの話し合いの中で、両社とも、さまざまな工夫が取り入れられているという意見であったように思いますが、地図の見やすさや調べ学習への活用を考えると、帝国が適しているのではないかと思います。

#### ○真野教育長職務代理者

私も、東書より帝国の方が、より社会の教科書に関連した内容で、資料が豊富であると思います。

#### ○玉井委員

やはり調べ学習に活用しやすいということは、重要だと思います。

### ○藤田委員

様々な点で評価の高い、帝国が適当ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

### ○高須教育長

帝国が良いというご意見が多いようですが、地図帳は帝国に決定してもよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

### ○高須教育長

御異議なしと認めます。よって地図帳は、帝国書院を採択することに決めます。

次に、種目「算数」について、協議してまいりたいと思います。現行は啓林館を使用しております。発行者は6社です。

算数については、市学習到達度調査や全国学力・学習状況調査において、着実な成果が表れてきています。今後さらなる成果につなげていくために、適切な教科書を選定していきたいと思います。

それでは、各委員の皆さんより御意見をお願いいたします。

### ○玉井委員

発行者6社について、選定委員会からの答申を元に、再度教科書を読み直してみましたが、算数科の知識・技能の目標である、基礎的・基本的な概念や性質などの理解に関することや、日常の事象を数理的に処理する技能については、各社とも適切な課題が設定されていたと思います。

また、各社とも小単元等を設定し、学習したことを生活で生かすことができるように、取り扱われており、甲乙つけがたい印象でした。

### ○秋元委員

人権の取扱いについては、各社において工夫が見られました。

大日本や学図、日文が、外国にルーツがあると思われる児童のイラストが使用されており、好感が持てました。こういった配慮は、当該の児童だけでなく、周りの子ども達にとっても、必要なことのように感じました。

### ○藤田委員

東書では、4年生の角度の学習で、車いすの方が利用するスロープの角度を測る学習を設定していますし、啓林館は2年生で、車いすを使用している子どものイラストや「速さ」の学習で、国際車いすマラソン大会の写真が掲載されていました。

特に良いと感じたのは、大日本と教出です。

大日本では、点字で表された数を読んだり、いろいろな数字を点字で表現したりする学習を取り扱っていました。

教出は、点字がどのような仕組みで作られているのかを調べ、実際に点字の五十音表を完成させようという課題を設定し、数学的な視点から、点字に興味を持つことができるように工夫されているのが印象的でした。

普段、身近にあるものを数学的に見直すことで、算数を学ぶ意欲につながるの

はないかと思いました。

**○高須教育長**

なるほど、大切なことですね。学ぶ意欲という言葉が出ましたが、新しい学習指導要領における主体的・対話的で深い学びの観点については、いかがでしょうか。

**○真野教育長職務代理者**

答申にもありますが、各社ともに生活場面と関連した問題を取り扱う等、導入を工夫するとともに、身近な題材等から問題を見付けたり、話し合ったりすることで、主体的に学習に向かう態度を育成し、対話的に学ぶことを通して課題を解決していくことができるような構成になっていました。

**○坂本委員**

その中でも学図は、児童が興味をもって学習に臨むことができるように、導入部分を漫画形式で記載していて、子ども達が楽しく学習できるように工夫されているなど感じます。

**○真野教育長職務代理者**

目次も、各社工夫されていて、これまでに学習した関連事項を記載することで、子ども達に見通しを持たせるだけでなく、今までの学習を振り返りながら、次の学習に取り組むことができるように考えられていました。

東書や大日本、日文に関しては、そのあとで学習する関連単元を掲載しています。特に、東書と大日本は、中学校数学の単元との関わりについても触れられており、小中一貫教育の観点から見て、とても有効なのではないかと感じました。

**○高須教育長**

算数は、系統性の非常に高い教科ですので、学習につまずいた場合は、その学習の前の段階を踏まえて指導をすることで、理解につながることはたくさんあります。こういった工夫があることで、経験の浅い先生も効果的に指導ができるのではないかと思います。

**○藤田委員**

そういった意味では、全学年を一冊にまとめている大日本は、評価できるのではないかと思います。

また、高学年の教科書を一冊にまとめている教出、啓林館なども既習事項を振り返ったり、学習を見通したりすることができる点で良いように感じます。

**○坂本委員**

一方で、保護者の立場から言わせていただくと、教科書が年々重たくなっていることについては、配慮すべきではないかと思います。

また、勉強が苦手な子にとっても、教科書は薄い方がいいと思いますので、低学年・中学年は、分冊となっている方が子どもたちの普段の通学等にとってはいいのではないかと感じます。

**○高須教育長**



文部科学省からも、昨年度、「児童生徒の携行品に係る配慮について」という通知が来ています。何を持ち帰らせるのか等については、状況に応じて配慮することが求められています。

少し視点を変えて、各社学習に役立つウェブサイトを開発していますが、そのあたりで御意見ををお願いします。

#### ○秋元委員

啓林館は、6社中最も多くデジタルコンテンツを準備しています。各ページにQRコードが記載されている為、すぐにアクセスすることができます。

特に、図形の単元においては、いろいろな角度から立体図形を撮影した動画等が閲覧でき、指導する際にとっても有効ではないかと思われます。

#### ○藤田委員

啓林館は、他の会社にはない透明の分度器がついているのも工夫されているなど感じます。家から持ってくる分度器がバラバラで、指導しにくかったという経験もあるので、付録としてついているのは良いと思います。透明なので、いろいろな角度が測れること、そして分度器の大きさも共通しているのも、指導もしやすいのではないかと思われます。

#### ○高須教育長

そろそろ何社かに絞りたいと思いますが、御意見を伺っていると、東書、大日本、啓林館が多いように思うので、その3社にしぼって、話を進めていきますが、よろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

#### ○高須教育長

それでは、続けて御意見ををお願いします。

#### ○真野教育長職務代理者

各社ともノート指導に力を入れているのが印象的でした。基礎的・基本的な力を定着させるためには、大変有効であると感じます。

3社とも各学年の巻頭に、ノート例を示し、指導できるように工夫されていますが、東書は、下巻にも、「今日の深い学び」コーナーを設置し、繰り返しノート指導ができるよう工夫されていて丁寧だと感じます。経験の浅い先生もこれを見ながら、統一した指導の徹底が図れるのではないのでしょうか。

さらに東書は、1年生の最初の2単元分をサイズの大きな分冊にしています。また、書き込みやすい用紙になっていますし、書き込む枠もこれから使用していくノートをイメージしたものになっていて良いと思いました。

#### ○坂本委員

大日本は、4年生の最初に、折れ線グラフや棒グラフを取り扱っており、他教科との関連を意識し、社会科等で学習する前に指導ができるように工夫されていました。調査員からの報告の中でも、評価が高かった点です。

### ○藤田委員

大日本と啓林館は、「めあて」を記載しており、1時間の授業の目標を意識し、主体的に学習していくことができるように工夫されています。「何を学ぶのか」を明確にすることで、学習の効果を高めることができるのではないかと感じます。

### ○玉井委員

啓林館は、6年生で、社会で活躍している方が、仕事と算数との関係を紹介するページを設定しており、今の学習が、子ども達の将来につながっていることをイメージし、学ぶことの意義を感じながら学習を進めることができるように工夫されていました。

実社会との結びつきを意識することで、学習の必要性を感じるとともに、より親近感もわくのではないのでしょうか。

### ○秋元委員

啓林館はWeb上で、インタビューの動画も掲載されていて、非常にわかりやすいと感じました。生涯にわたって学び続ける力を育むことにつながっていくのではないのでしょうか。

### ○坂本委員

個人的には、啓林館が扱っている問題が少し難しいというふうに見えますが、いかがでしょうか。

### ○真野教育長職務代理人

多少高度な学習内容ということで、何とかして答えを導き出そうと、児童の知的好奇心へ訴えることもでき、クラスで協働して学習を深めることができるという良さもあります。

教科書だけの成果とは言えませんが、こうした問題に日々取り組んできた積み重ねによって、市到達度調査や全国学力・学習状況調査でも、大阪府平均や全国平均を超える成果が上がってきているといえるのではないのでしょうか。

### ○玉井委員

学校所見でも、概ね評価は高かったように思います。算数の教科書としては、啓林館が適当ではないかと思いますが、いかがでしょうか。

### ○秋元委員

私は、東書、大日本も優れていると思いますが、やはり学習内容を深める活用力の育成をより重視している点で啓林館が適当だと思います。

### ○高須教育長

今までの意見からしますと、啓林館が適しているという声が多いようですので、啓林館ということではいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

### ○高須教育長

御異議なしと認めます。よって算数は、啓林館を採択することに決めます。

次に、種目「理科」について、協議してまいりたいと思います。現行は、啓林館を使用しております。発行者は5社でございます。

御意見はございますか。

**○坂本委員**

発行者5社について、選定委員会からの答申、調査員の報告書、各学校からの所見等を研究調査いたしました。各社それぞれ創意工夫ある内容が見られました。

**○藤田委員**

私も、そう思います。目標・内容の取扱いについても、各社巻頭にそれぞれ理科の学び方を示している点が、配慮されていると感じました。

**○高須教育長**

それは、具体的に言うと、どういうことですか。

**○藤田委員**

問題を主体的に見つけ、予想を元に実験や観察を行い、結果をまとめ、考察するという過程や学習の進め方を、各学年の最初に示していて、問題解決に必要な力を養うための配慮がされていると感じました。

**○高須教育長**

なるほど。学習の進め方について、ほかに御意見はございませんか。

**○玉井委員**

各社、問題解決までの段階を3つ、もしくは4つに分けて進めるよう各単元を構成しているのが特徴的です。

例えば、東書では、単元構成が「問題をつかむ」「調べる」「まとめる」の3段階を進め方の基本としており、教出では「問題を見つける」「考えをつくる」「考えを確かめる」「表現する」の4段階を進め方の基本としています。

**○坂本委員**

今、玉井委員がおっしゃった問題解決までの段階は、特に、東書、学図、教出、啓林館の4社は、各単元のページの左側に、問題解決の流れが矢印で示されており、意識しやすくなっていると思います。

**○高須教育長**

各社の創意工夫についてはいかがでしょうか。

**○真野教育長職務代理者**

どの会社も、ものづくりの活動を積極的に取り入れ、工夫をしていると思います。また、他の教科との関連を示す工夫について、特に大日本で見られました。

**○藤田委員**

確かに、どの会社も優れていると思いますが、5社の中でも、東書、啓林館、大日本は、調査員の評価も高かったように思います。この3社にしぼって議論するのはいかがでしょうか。

**○高須教育長**

東書、啓林館、大日本の3社という提案がありましたが、いかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

それでは、この3社で話を進めてまいります。

御意見をお願いいたします。

#### ○秋元委員

啓林館では、問題解決の活動の中で、働かせたい学び方や見方・考え方について、キャラクターの吹き出しでヒントを示す工夫がされていました。

キャラクターの吹き出しからは、単純に考え方のヒントを出しているだけでなく、実験や観察において、考察する際に対話的な活動を促す工夫も感じられました。

#### ○高須教育長

では、観点を変えて、理科で大切な、実験・観察の取り扱いについてはいかがでしょうか。

御意見をお願いいたします。

#### ○真野教育長職務代理者

各社とも、各單元において、適切な内容の実験が設けられており、子どもたちが主体的に問題を見つけ、解決に向けて活動できるように工夫されていました。

#### ○坂本委員

実験・観察における安全面についてですが、各社とも、様々な注意点や、危険が生じる可能性のある場面については、赤字で注意を促すよう配慮されています。その中でも、特に啓林館では、どのような注意が必要なのか、一目でわかるようにマークを記載していて、とてもわかりやすいと感じました。

子どもたちの安全は、理科学習においても、とても大切だと思いますので、実際に教科書を皆さんに見ていただけたらと思うのですが。

#### ○高須教育長

具体的には、どのページでしょうか。

#### ○坂本委員

啓林館6年生の、7ページを開いていただいてもよろしいでしょうか。

#### ○高須教育長

事務局、お願いします。

#### ○秋元委員

確かに、マークを使って、児童の安全面に関してもしっかりと配慮されているのがわかります。

#### ○真野教育長職務代理者

一目で、何に気をつければいいのか、わかりやすいのがいいですね。

#### ○高須教育長

その他、各社の特徴について、御意見はございませんか。

#### ○玉井委員

東書の教科書のサイズが今回からA4版になったことも、特徴だと思います。図や字も大きく見やすくなり、その上で重量もほとんど変化がないという工夫がされています。

**○高須教育長**

ほかに、御意見はございませんか。

**○秋元委員**

各社ともに、巻末の付録が充実していると思います。

**○真野教育長職務代理人**

ものづくりの付録も、各社充実しています。

6年生でいうと、東書の巻末付録の人体模型は、ものづくりを通して、体のつくりがわかるようになっていて、良いと思いました。

**○藤田委員**

6年生でいうと、啓林館も、月の満ち欠けの付録がありました。

また、啓林館では「ものづくり広場」というコーナーを設置していて、実生活や実社会との関連や、既習内容から次の学年や中学校への接続を意識しているように感じました。

**○秋元委員**

中学校へのつながりというのも、確かに大事ですね。

**○高須教育長**

様々な意見が出てまいりましたが、そろそろ結論を出したいと思います。

**○坂本委員**

各社ともに特徴的な部分があると思いますが、今までの話を総合して考えると、理科は啓林館が適当ではないかと思います。

**○玉井委員**

そうですね。東書も良いように思いましたが、話を進めていく中で、啓林館がより良いように感じました。

**○高須教育長**

啓林館を推す意見がありましたが、理科は、啓林館を採択することでご異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○高須教育長**

御異議なしと認めます。よって理科は、啓林館を採択することに決めます。

次に、種目「生活」について、協議してまいりたいと思います。現行は啓林館を使用しております。発行者は8社でございます。

各委員の皆さんより、御意見がありましたら、お願いいたします。

**○真野教育長職務代理人**

各社ともが、創意・工夫がみられましたが、選定委員会からの答申、調査員の報告

書、学校の所見等を見ますと、東書、大日本、啓林館の3社の評価が高かったように思います。この3社を中心に検討をしてはいかがでしょうか。

**○高須教育長**

ほかに、御意見はございませんか。

**○藤田委員**

私もその3社でよいと思います。

**○高須教育長**

では、他に意見が無いようでしたら、東書、大日本、啓林館の3社を中心に、検討を進めます。

まず、目標や内容の取扱いについて、御意見をお願いいたします。

**○秋元委員**

各社とも、生活科の目標を達成するために、学習指導要領の内容が適切に取り上げられています。

**○玉井委員**

東書では、「かつどうべんりちょう」を手がかりにして、学習の過程で児童が考え、表現する内容が取り上げられています。

**○真野教育長職務代理者**

啓林館でも、「がくしゅうずかん」を手がかりにして、学習習慣や技能などを身につけられるよう配慮されていますね。

**○高須教育長**

次に、人権の取扱いについてはいかがでしょうか。

御意見をお願いします。

**○坂本委員**

人権の取扱いについては、各社とも、人権尊重の観点から、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われています。各社ともに、幼児や高齢者、障がいのある人、外国の人などをさりげなく登場させ、多様な人々と関わる活動場面が取り扱われていました。

**○玉井委員**

すべての児童にとって、使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色などが配慮されており、丁寧に編集されていると思いました。

**○坂本委員**

啓林館では、点字ブロックや補助犬、赤ちゃんの駅などを取り上げ、共生についての理解が深められるように配慮されていますね。

**○高須教育長**

先ほど文章や写真、挿絵などについての発言がありましたが、文章の記述量や写真、挿絵などの資料については、各社どのような特徴があったのか、この点について

て、いかがでしょうか。

#### ○秋元委員

各社とも、児童の発達段階を考慮した内容になっていると思います。

#### ○藤田委員

大日本では、ページの右側に「せいかつことば」が掲載されており、児童の語彙力の向上や言語能力の育成が図られています。

植物や動物の名前がひらがなとカタカナの両方で併記されており、全体的に言葉を意識したつくりになっています。

#### ○秋元委員

東書や啓林館でも、写真や挿絵などが効果的に活用されていて、児童の発達段階に考慮されています。

#### ○真野教育長職務代理者

特に啓林館では、単元の導入部に設定されている「わくわくボックス」の中で、実物大の野菜や果物、昆虫などが紹介され、児童の好奇心を揺さぶり、思いや願いを高める工夫がされていると思います。

#### ○高須教育長

新学習指導要領では、生活科において、各学年の目標や内容を踏まえたスタートカリキュラムや教科横断的な視点が重視されています。

この点について、各社の単元構成や配列はいかがでしょうか。

#### ○坂本委員

各社とも、各学年の目標や内容を踏まえた効果的な指導が行われるよう、単元やページが組織・配列されています。

#### ○秋元委員

各社ともに、各単元が、「課題を設定し、活動を行い、振り返る」という流れになっています。これは、生活科の目標である「具体的な活動や体験を通して、身近な生活に関わる見方・考え方を生かす」という部分に合致しています。

#### ○玉井委員

啓林館では、特に、単元構成が、思いや願いをもつ「わくわく」、活動や体験をする「いきいき」、伝え合いふり返る「つたえあおう」で構成されており、活動や体験を通して学ぶことができるように工夫されていると思います。

#### ○高須教育長

その他に、各社の創意工夫で特徴的なものはありますか。

#### ○藤田委員

各社とも、身近な生活に関わる見方・考え方を生かし、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されています。

#### ○玉井委員

東書では、見開きの右端に学習のポイントや注意点が掲載されており、実際に活

動する前に確認しやすいように工夫されています。

**○藤田委員**

大日本では、透明シートや手づくり教材を使い、児童の興味関心をかき立てるような工夫がされています。

**○真野教育長職務代理者**

啓林館では、町探検の場面で、パン屋のにおいや信号の音などを例示し、感覚を働かせて探検ができるように工夫されています。

**○高須教育長**

では、そろそろまとめていきたいと思います。

3社、それぞれに良いところがありますが、皆さん、いかがでしょうか。

**○真野教育長職務代理者**

全体的なバランスを考えると、様々な内容が豊富に紹介されている啓林館が良いと思います。

**○秋元委員**

子どもたちの親しみやすさの面でも啓林館を推薦します。

**○玉井委員**

啓林館の教科書に載せられているイラストや写真なども、シンプルで親しみがわきます。

**○高須教育長**

啓林館を推薦する意見が出ましたが、生活の教科書は、啓林館を採択するという  
ことで、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

**○高須教育長**

御異議なしと認めます。よって生活は、啓林館を採択することに決めます。

次に、種目「音楽」について、協議してまいりたいと思います。発行者は2社です。  
現行は教芸を使用しております。

御意見はございませんか。

**○秋元委員**

この2社の全体的な印象として、教出は、折り込みや透明シートなどの工夫や、  
文字の色使いがカラフルで、大事な言葉は色を変えていることなどから、音楽の楽  
しさ・良さが伝わると感じました。

一方、教芸は、とてもシンプルで、イメージしやすい写真やイラストを効果的に  
使いながらも、文字の色は統一されており、すっきりして見やすくなっていました。

**○坂本委員**

確かに、どちらの教科書も、写真やイラストを効果的に掲載して、子どもたちが  
イメージを膨らませやすい工夫をされていました。

特に、教出の3年生以上の教科書では、写真が折り込み見開き一面に載っている



共通教材があります。6年生の「おぼろ月夜」は特に、今の子どもたちにとってはイメージしにくい、歌詞の情景がわかりやすいと思いました。

#### ○藤田委員

どちらの教科書も情景だけでなく、歌い方や楽器の演奏方法も、見て、わかりやすいように工夫されていました。

今回、どちらの教科書も、紙面上の二次元コードからURLを読み取ることで、動画等の関連資料を閲覧できるよう工夫されており、子どもたちだけでなく先生たちにとっても、参考になると思いました。

#### ○高須教育長

新学習指導要領では、生活や社会の中での音や音楽と豊かにかかわる資質・能力を育成することを目指していますが、その点はいかがでしたか。

#### ○玉井委員

社会との関わりと言えば、どちらの教科書も震災復興に関わる教材を取り上げていました。

教出は見開き1ページを使い、震災復興に対しての様々な関わり方を紹介し、教芸は、震災復興だけでなく、地域の高齢者との交流等も紹介し、音楽にできることを考えさせる内容になっていました。

#### ○秋元委員

他にも、教芸では、ブラインドサッカーや身の回りの音を取り上げ、音の働きや役割について考える特集が組まれていました。

また、裏表紙には、各地に伝わる郷土芸能が取り上げられており、社会や身の回りの人々とつながる意識を育てていると思いました。

#### ○玉井委員

どちらの教科書も英語の歌を取り上げていました。さまざまな国の音楽に親しむ工夫がされており、国際理解につながっていました。

#### ○真野教育長職務代理者

日本の音楽に対しても、良さを感じ取り、それらを大切にする豊かな心を育むための工夫がされていました。どちらの教科書も、日本の伝統的な歌が引き継げるようになっていましたが、教芸が、教出より数多く載っていました。

少し話が変わりますが、6年生の教科書をもってきていただけますか。

#### ○高須教育長

事務局、お願いします。

#### ○真野教育長職務代理者

教出は38ページを、教芸は40ページをお願いします。

教出を見ていただくと、題材ごとにメモ欄が、右上に設けられており、子どもたちが聴き取ったことや感じ取ったことを書き込めるようになっています。

教芸は、このようなワークシートが鑑賞・表現の両領域に設けられており、子ど

もたちが聴き取ったことや感じ取ったことを書き込み交流できるようになっています。

どちらも言語活動を大切にされていると感じましたが、教芸の方が段階的に進められるようになっていくと感じました。

#### ○藤田委員

確かに、教芸の方がスモールステップで、手立てが詳しく示され、自主的に学べる工夫がされていると思いました。目次の次に、1年間の学習を内容ごとにまとめたページを設け、見通しを持たせており、巻末のふりかえりのページもわかりやすくなっていました。

教出は、内容が少し高度な印象を受けました。専門的な知識や音楽に関する能力の高い教員にとっては、実態に合わせて、弾力的に使える教出の方が、使い勝手はいいかもしれません。しかし、経験の少ない教員が多くなっている現状からも、少し難しさも感じました。

#### ○高須教育長

今までの意見からしますと、教芸が良いという意見が多いようですが、いかがでしょうか。

#### ○坂本委員

教出が、資料が豊富で、学びが深まるかと思いましたが、実際指導する先生方が扱いやすく、児童の実態に合った学習ができるものとなると、教芸の方がいいということで理解しました。

#### ○高須教育長

それでは、音楽の教科書は、教芸を採択するというところで御異議ございませんか。  
(「異議なし」の声あり)

#### ○高須教育長

御異議なしと認めます。よって音楽は、教育芸術社を採択することに決めます。

次に、種目「図画工作」について、協議してまいりたいと思います。現行では開隆堂を使用しており、発行者は2社です。

御意見はございませんか。

#### ○藤田委員

選定委員会の答申、調査員の報告書、学校所見等を研究調査いたしました。2社とも、1・2年生、3・4年生、5・6年生で上下巻に分けられ、それぞれの学年の目標を踏まえたテーマが設定されていると思いました。

#### ○玉井委員

開隆堂は、材料感などを通してイメージや想像を広げ、創造的に作ったり、表したりすることができる内容が取り上げられています。

日文は、児童の思いに合うような材料や方法で見たり、つくったりできる内容が取り上げられています。

### ○高須教育長

2社とも、目標・内容が明確で、工夫がされていますね。内容の程度はどうか。御意見ををお願いします。

### ○真野教育長職務代理者

開隆堂は、児童の発達段階に応じて表現活動の内容がバランスよく取り上げられていると思います。

日文も、児童が様々な感覚を使って材料や用具に直接触れるなど感覚を大切にしたい題材を設定しています。

### ○高須教育長

それでは人権の取り扱いはいかがですか。

御意見ををお願いします。

### ○秋元委員

2社とも、語句・作品例・写真等において、人権尊重の観点を大切にし、適切に取り扱われていると思います。

### ○真野教育長職務代理者

私も、どちらも、作品を通して、コミュニケーションが図られるよう、配慮されているように思いました。

開隆堂は、友だちや自分の作品を鑑賞するポイントが示されており、それぞれの表現を共感的に受け止める大切さを示しているように思います。

日文は、友だちや自分の作品を鑑賞する中で、お互いを認め合うような活動の大切さを示しているように思います。

### ○藤田委員

安全な活動という点でも、2社とも配慮があります。

開隆堂は「安全」マークを、日文は「気をつけよう」マークを示し、児童が安全に活動できるよう注意喚起をしています。

### ○高須教育長

そうですね。2社とも、事故防止に対する注意喚起がなされています。

それでは、組織や配列についてはいかがですか。

御意見ををお願いします。

### ○玉井委員

日文は、幼稚園・保育所や中学校との関連を意識したページがあり、さらに、他教科や他教材とも関連が図られ、教科横断的に学びが広がるように工夫されています。

開隆堂も、他教科との関連がある内容には、「あわせて学ぼう」というマークがあり、教科横断的な学習への手立てとなるように配慮されています。

### ○坂本委員

日文では、中学校美術や技術・家庭科の分野にもつながるように墨やワイヤーな

どの表現方法が詳しく取り上げられています。

#### ○秋元委員

開隆堂も、水墨画や古典美術の作品に触れながら表現を広げていくような題材が設定されており、就学前教育や中学校の学習とも関連する内容が取り上げられています。

#### ○高須教育長

ページの構成をはじめ、2社とも、それぞれの工夫が随所に見られますが、次は創意工夫について御意見ををお願いします。

#### ○真野教育長職務代理者

そうですね。2社ともA4版で、写真やイラストが大型で、見やすく掲載されています。

開隆堂は手元を大きくクローズアップするなど、情報の軽重がつけられており、インパクトがあります。

#### ○秋元委員

開隆堂は、資料が充実しており、「造形の引き出し」や「みんなのギャラリー」では、伝統文化にも触れています。

さらに、QRコードで多くの動画や作品例も見ることができるというのは、指導者側にとっても、役に立つのではないのでしょうか。

#### ○坂本委員

日文では、作り方の手順などが掲載されていて、子どもたちが自信をもって、主体的に活動できるように工夫されています。

#### ○高須教育長

補充的な学習や発展的な学習についてはいかがですか。

#### ○藤田委員

開隆堂は「学びの資料」、日文は「使ってみよう材料と用具」があり、学年に応じた材料や用具の使い方を示しています。特に家庭でなかなか使うことのない用具について、詳しく説明している点は大切なことだと考えます。

#### ○玉井委員

開隆堂では「ショートチャレンジ」として、短時間扱いの絵画題材も各学年に設けられており、気軽に楽しく活動できる良さがありますね。

#### ○高須教育長

図工の場合、特に、表紙や挿絵、イラストや写真が子どもたちの興味関心を引き付ける上で重要なポイントだと思います。

この点について、御意見ををお願いします。

#### ○坂本委員

その点で言えば、日文は色づかいに落ち着きがあり、工夫がされていると思いました。

**○真野教育長職務代理人**

写真の扱いを比較すると、開隆堂は写真の取り扱いもダイナミックに提示されています。日文の写真は、小さいですが、数が多く取り上げられております。

**○秋元委員**

開隆堂の作品や写真は色彩豊かで、とても美しいですね。鑑賞の内容は4ページにわたっており、扱われている作品も良質なものが多く感じます。

**○高須教育長**

言語活動の充実を図るという点では、いかがでしょうか。  
御意見をお願いします。

**○藤田委員**

2社とも、活動中の子どものつぶやきを入れ、つくった児童の思いや自分の気持ちを言葉で表現できるようにされています。

また、作者の思いや表現の工夫が書かれていて、自分の思いを伝えたり、友だちの作品を評価したりする活動を促しているように思います。

**○玉井委員**

そうですね。特に開隆堂は、「ふりかえり」が疑問形で書かれているため、児童が表現しやすくなっていると思います。

**○高須教育長**

そろそろまとめに入りたいと思いますが、真野教育長職務代理人、いかがでしょうか。

**○真野教育長職務代理人**

そうですね。今までのお話を聞いていて、日文もよいのですが、やはりインパクトがあり、色彩豊かな作品が数多く提示され、資料も充実している開隆堂を推薦したいと思います。

**○坂本委員**

私は、日文が良いと思っていましたが、皆さんの御意見を聞いてみると、開隆堂の良さも理解できました。開隆堂を推薦します。

**○玉井委員**

私は、めあての中でも重点的なものを示している点、そして、ふりかえりで児童が表現しやすいという点から、開隆堂を推薦します。

**○藤田委員**

私も、開隆堂を推薦します。冒頭に、全体構成を俯瞰でき、視覚的にとらえることができる「カリキュラム編成目次」があることで、カリキュラムマネジメントの視点からも優れていると考えました。

**○高須教育長**

皆さん、開隆堂という御意見でしたので、図画工作の教科書は、開隆堂を採択するというところで、御異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

**○高須教育長**

御異議なしと認めます。よって図画工作は、開隆堂を採択することに決めます。

次に、種目「家庭」について、協議してまいりたいと思います。現行は、東書を使用しております。発行者は2社です。

御意見をお願いします。

**○藤田委員**

両社とも、日常生活に必要な基礎的な理解を図り、実習を繰り返し行うことを通して、それらの技能の習得ができるよう、発達段階に応じた内容が取り上げられています。

また、日常生活の中から問題を見いだして課題を設定する、課題解決型となっています。

東書は、全ての大題材で「1 見つめよう」「2 計画しよう・実践しよう」「3 生活に生かそう・新しい課題を見つけよう」で展開し、学び方を示しています。

開隆堂は、学習の順序を「1 見つける・気づく」「2 わかる・できる」「3 生かす・深める」から構成され、各題材とも「学習のめあて」ではじまり、単元の最後には「ふり返ろう・生かそう」で家庭実践につながられています。学習の過程では、「できたかな」でチェックを入れ学習の配慮がされています。

**○秋元委員**

両社とも、登場する男女の数や役割に偏りがないよう配慮されており、協力の大切さに気づかせるようになっています。

また、家族や地域とのつながりを意識し、協力してよりよい生活を実現していくための力を養えるよう、工夫されています。

また、安全に実習を進めるため、特設ページを設けるなどの配慮がされ、安全に気をつける場面では「安全」マークで注意点が示されるなど、事故防止に留意するよう配慮されています。

**○高須教育長**

そのほか、御意見はございませんか。

**○藤田委員**

お茶の入れ方については、東書の方が、同じ量や濃さになるように、図で示し

わかりやすいです。開隆堂の説明だと、濃さの均等化まで指導することは難しいと感じました。

また、東書は茶たくに乗せる・香り・茶という言葉の意味にもしっかり言及されていました。

洗濯の単元では開隆堂に比べ、東書の方が、表示の例が詳しく記載されていました。

**○玉井委員**

私は、開隆堂のページ下部にある「ひとロメモ」の中で、専門的な用語について、わかりやすく説明されていて、子どもが理解しやすい工夫がされていると感じました。

**○高須教育長**

両社の内容や、創意工夫についてはいかがですか。

**○真野教育長職務代理者**

開隆堂は、各単元で学習のイメージがもてるよう、紙面がわかりやすく構成され、授業の進め方が「見える化」されているように感じました。

また、実習などについては、横流れのレイアウトとなっており、実習のイメージが持ちやすくなっているように感じました。

**○坂本委員**

私は、東書がA4版で、開隆堂より大きな教科書となっていました。重量的に差はあまり感じず、逆に大きさをいかし、図や写真等で、見やすくなっているように感じました。

**○高須教育長**

中学校技術・家庭科への接続についてはいかがですか。

**○秋元委員**

両社とも基礎的なものから応用的なものへと、段階的に取り組めるような配列になっていました。

**○玉井委員**

東書は、4年生までの学習を踏まえ、2年間の家庭科の学習の見通しを立てられるよう、巻頭ページに目次とガイダンスを設置しており、ガイダンスには4年生までの学習内容と5年生から始まる家庭科の学習との関わりを示されていました。

また、5年生と6年生の最後に「まとめ」のページを設定し、学年間や中学校への接続がスムーズになるように配慮されている点が良いと思いました。

**○高須教育長**

そろそろまとめてまいりたいと思います。

藤田委員、いかがですか。

**○藤田委員**

今までの話し合いの中で、2社とも、さまざまな工夫が取り入れられているという意見であったように思いますが、題材への意欲や意識を高めながら、問題解決型学習を進め、日常生活にいかしていくことができるという点で、東書が適しているのではないかと思います。

**○真野教育長職務代理者**

基礎・基本の定着といった意味で、視覚的にイメージしやすい図表や写真など豊富に例示され、児童にとって分かりやすい東書の方が適切かと考えます。

**○高須教育長**

それでは、結論を出したいと思います。

総合的に東書が良いという意見が多かったので、家庭の教科書は、東書を採用するというので、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

#### ○高須教育長

御異議なしと認めます。よって家庭は、東京書籍を採用することに決めます。

次に、種目「保健」について、協議してまいりたいと思います。現行では東書を使用しております。発行者については、全部で5社となります。

御意見はございませんか。

#### ○真野教育長職務代理者

保健については、身近な生活における健康・安全に関する基礎的な内容が重視されています。健康な生活を送る資質や能力の基礎を培う観点から、各社とも、「毎日の生活と健康」「体の発育・発達」「心の健康」「けがの防止」及び「病気の予防」に関する内容を取り扱っています。

これらに加え、防犯の内容と防災の内容が、どの教科書会社にも取り入れられていました。

#### ○高須教育長

5社ともに、各単元のはじめに学習の課題を示し、児童が見通しをもって主体的に学習を進めることができる内容になっていますが、各社の特徴等、皆さんの御意見を伺いたいと思います。

#### ○坂本委員

私は、東書によい印象を持ちました。

教科書が他の会社よりも分厚く、資料が豊富にあり、子どもたちにとって興味を引くものが多いと感じました。

また、各単元に「ステップ1」から「ステップ4」の学習活動が設定されていて、非常に見やすく、見通しをもって学習に取り組みやすいと感じました。

#### ○秋元委員

私も、東書の学習活動については、非常に見やすく、わかりやすく構成されていると感じました。

#### ○高須教育長

ほかに御意見はございませんか。

#### ○藤田委員

学研では、各単元が見開きに収められ、学習の流れがつかみやすくなっており、わかりやすいと思いました。

#### ○玉井委員

文教社では写真・イラスト・グラフが非常に多く、視覚効果を重視し、わかりやすく、親しみやすいレイアウトになっていて、子どもたちに見やすくなっていると



思います。

**○秋元委員**

確かに、文教社は、写真やイラストが多いですね。

また、アスリートからのメッセージがあり、子どもの興味をより一層引き出す工夫がされていますね。

**○高須教育長**

今、3社の特徴をお話しされましたが、選定委員会からの答申、調査員の報告書、学校所見と今の皆さんのご意見を考慮し、比べると、東書と文教社と学研の評価が、他に比べて高かったように思いますが、この3社に絞って検討してはいかがでしょうか。

**○坂本委員**

私もその3社で良いと思います。

**○高須教育長**

ほかに、御意見はありませんか。

それでは、東書と文教社と学研の3社について、検討を進めていきたいと思いません。

まず、保健に関して、人権の取扱いについても大切な視点ですが、各社の取扱いについて、御意見をお願いいたします。

**○真野教育長職務代理者**

東書では、高齢者や障がいのある方との関わりを取り上げた挿絵や、男女が一緒に仲良く活動している様子の写真、パラリンピック選手のエピソードなども取り上げられていました。

**○藤田委員**

文教社でも、同じように男女が仲良く遊び、成長における個人差や異性に対する理解を促すなど、違いを認めるように配慮されています。

**○秋元委員**

3社ともに、成長における個人差や異性に対する理解を促し、違いが認められるような内容の取扱いとなっています。

また、イラストや写真などで共生を意識づけています。

**○高須教育長**

新聞報道等でありました、「性の多様性」について、3社の取り扱いはいかがでしょうか。

**○坂本委員**

文教社では、5・6年生の教科書、「心の健康」分野に「寄りそうことの大切さ」として、掲載されています。

**○玉井委員**

東書と学研では、特に取扱いがなかったように思います。

**○藤田委員**

全ての発行者、5社のうち、2社しか掲載がないという点からも、小学生段階での「性の多様性」の取り扱いについて、各社とも慎重になっていると感じました。

**○高須教育長**

では、インターネット・スマートフォンについては、いかがでしょうか。

**○坂本委員**

3社のうち、学研、東書のそれぞれの取り扱いに特徴があるように感じました。

東書は、インターネットのトラブルの中でスマートフォンのことが出てきます。

取り扱いも大きく、4コマ漫画を活用し、具体的に起こりうるトラブルを掲載するなど、子どもたちにとってわかりやすいと思います。

**○藤田委員**

学研は、インターネットトラブルを紹介する中でスマートフォンが出てきています。取り扱いは小さく、触れている程度ですね。

**○真野教育長職務代理者**

小学生のスマホトラブルについては、増加傾向にある中、このように教科書が取り扱い、指導する機会が多いほうが良いと思います。

**○高須教育長**

最近の話題でもあります、自然災害や犯罪被害から身を守る等、安全についてはいかがでしょうか。

**○秋元委員**

学研は、5・6年の「犯罪から身を守るために」の取組の中で、「安全マップ」を取り上げていて、作り方や注意点を掲載しています。

**○玉井委員**

東書では、5・6年生の「犯罪被害の防止」の発展的な項目の中で、「安全マップ」の作成が大きく取り上げられていて、目的・注意・作る時の視点などが細かく示されています。

**○真野教育長職務代理者**

この安全マップの作成は、社会科とも関連しており、様々な視点から取組が行えるような内容になっていますね。

**○藤田委員**

「安全マップ」については、他の2社も取り上げていますが、東書がより丁寧に感じますね。

**○高須教育長**

御意見を伺ってまいりましたが、そろそろ結論を出してまいりたいと思います。御意見をお願いします。

**○秋元委員**

各社とも特徴がありましたが、総合的に考え、東書が良いと思います。

### ○真野教育長職務代理人

私も、東書が良いと思います。特に、学習の進め方が非常にわかりやすく良いと思います。

### ○高須教育長

保健の教科書は、東書を推薦するという意見が出ていますが、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

### ○高須教育長

御異議なしと認めます。よって保健は、東京書籍を採択することに決めます。

次は、種目「英語」について、協議してまいりたいと思います。発行者は、7社です。

教科化を踏まえた初めての採択となります。

御意見はございませんか。

### ○秋元委員

新学習指導要領では、小学校では5年生から英語が教科化され、中学校では授業は英語で行うことを基本とし、内容に踏み込んだ言語活動を重視し、作文、発表、討論などができるように求められています。寝屋川市では、小学校1年生から「国際コミュニケーション科」として英語に触れてきています。

また、英語村では、普段学習していることが通じた喜びを味わうことができたりと、実際の活用の方も多くあります。

こうした、これまでの「国際コミュニケーション科」の取組を、さらに発展させられる教科書を選びたいと考えています。

### ○藤田委員

発行者7社について、選定委員会からの答申、調査員の報告書、各学校からの所見等を研究調査しましたが、各社それぞれ工夫ある対応が見られました。

各社とも、音声で聞くことを重視し、ターゲットとなる英語表現を繰り返し聞く中で、児童が新しい表現等に気づき、その後のアウトプットへと緩やかにつなげていく構成となっています。

### ○高須教育長

ほかに、御意見はございませんか。

### ○真野教育長職務代理人

今回は、各社ともQRコードを添付し、児童が家庭でも音声を聞くことができるよう工夫されていたり、手書きに近いフォントを使用したりするなど、すべての児童にとっての使いやすさを意識して作られているように感じました。

### ○玉井委員

開隆堂は、現在、中学校で使用している教科書会社ですので、小・中のつながりが、特に明確であるように感じます。

### ○秋元委員

私は、東書の別冊ピクチャーディクショナリーがとても魅力的だと感じました。学年を超えて持ち越すことで、児童の表現の幅が広がると思います。

### ○坂本委員

私も、秋元委員の意見に賛成です。

また、啓林館は、全体の構成がとても見やすく、児童や教員にとっても、使いやすい内容となっているのではないのでしょうか。

### ○高須教育長

ほかに、御意見はございますか。

### ○真野教育長職務代理人

教科書の大きさにも、各社、特徴があると感じました。

東書と学図はA4判と少し大きめで、紙面にも余裕があり、使いやすいのではないかと感じます。また、4線の幅にも特徴があり、特に、東書と光村は、少し幅を広くとっており、書くときの負担が少なくなるのではないかと感じます。

### ○藤田委員

私もそれは感じました。4線の幅については、現在の教材「We Can!」でも、広めにとられていますので、児童にとっては、なじみがあるのではないのでしょうか。

### ○秋元委員

7社のうち、東書、開隆堂、三省堂、光村、啓林館では、「CAN-DOリスト」の形で、児童がどのような力をつけるのかが明確に示されており、とてもわかりやすかったです。

### ○玉井委員

初めにもありましたが、各社とも、音声で聞くことを重視しながら、児童の気づきを促し、意味のある繰り返しの中で、アウトプットにつなげていくという構成が見られ、その中で、フォントや、色遣いなども含め、それぞれに工夫しているように感じられます。

### ○高須教育長

そうですね。各社とも工夫が見られますが、これまでの議論の中では、東書、光村、啓林館が特に特徴的であったというご意見が多かったように思いますが、いかがでしょうか。

### ○坂本委員

私もそのように感じています。

### ○高須教育長

ほかに御意見はございますか。

ないようなので、東書と光村、啓林館にしぼって検討していきたいと思います。

先ほど、玉井委員も言われましたが、聞くことを重視して、緩やかにアウトプットにつなげていくという点ではいかがですか。

### ○秋元委員

これに関しては、言語習得の基本的な流れにそっていますので、3社とも大きな差はないように感じます。

例えば、東書では、「出会う」「慣れる」「楽しむ」「広げる」という一連の流れの中で、児童の意欲を高める構成になっていました。

### ○真野教育長職務代理者

光村も、各ユニットの構成が、Hop、Step1、Step2、Jumpとなっており、児童が無理なく学習を進められるように工夫されていると感じましたし、啓林館でも、各ユニットがパート1からパート3の3つで構成されており、語彙や表現などの学習内容が示されていました。

### ○高須教育長

新学習指導要領では、他教科との関連も示されていますが、その点はいかがでしょうか。

### ○玉井委員

3社とも他教科と関連した内容が取り扱われていますが、特に東書ではその数も他の2社に比べて多く、児童が他教科での学びをいかしながら英語に触れることができると感じました。

### ○藤田委員

私もその点については、東書が一番多く取り扱っていると感じました。

### ○坂本委員

確かに、英語を学習するにあたって、他教科での学びを通して知っている内容であれば、児童への負担も少なくなりそうですね。

### ○高須教育長

どの教科書にも単語リストのようなものがありましたが、この点はいかがでしょうか。

### ○藤田委員

光村は、巻末にカテゴリーごとに分類された絵辞典があり、児童が表現したいことを探しながら、使えるようになっています。

啓林館も巻末にワードリストがあり、児童が表現したい内容を選んで活用できるようになっています。

### ○秋元委員

その点でいうと、東書は、リスト自体が別冊になっており、その中でカテゴリーに分類されています。

また、単語だけではなく、教科書で学習した、各ユニットの表現も文単位で掲載されており、索引は日本語で検索することができるので、児童もとても使いやすいように感じました。

### ○高須教育長

ここまでの議論を経て、結論を出していきたいと思いますが、いかがでしょうか。

#### ○玉井委員

3社ともそれぞれに工夫があり、魅力的な部分が多いのですが、私が一番特徴的だと感じたのは、東書の別冊ピクチャーディクショナリーです。語彙数も多いですし、何と云っても、学年をまたいで中学校まで使えるように工夫されている点がとても魅力的です。

#### ○秋元委員

私も、東書は寝屋川の子どもたちにも合っていると感じます。特に他教科と関連した内容が多く扱われていることも、これまでの寝屋川市の「国際コミュニケーション科」の授業づくりとの共通点があり、児童も教員も取り組みやすいのではないのでしょうか。

#### ○真野教育長職務代理者

東書と光村は、児童が文字を書く際のこと考えると、4線の幅等も含め、取り組みやすいと思います。

また、その中でも、東書は、紙面にも余裕があり、イラストや写真のレイアウトも見やすいと感じました。

#### ○高須教育長

東書という御意見が多いようですが、いかがでしょうか。

英語の教科書は、東書を採用するというところで、御異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

#### ○高須教育長

御異議なしと認めます。よって英語は、東京書籍を採用することに決めます。

次に、種目「道徳」について、協議してまいりたいと思います。現行では、光村を使用しており、発行者は8社です。

御意見がありましたら、お願いいたします。

#### ○真野教育長職務代理者

報告のあった答申をもとに、改めて教科書を見てみましたが、各社、道徳科の目標である、「自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考える」ということができるよう工夫されていると感じました。

目標・内容の取扱いにもありますように、東書・教出・光村・日文・光文、あかつきは、教材の冒頭に、学習のテーマ等が示されています。

また、教材の末尾には、学習が終わった後の行動につながる問いを設定しています。

#### ○玉井委員

反対に、学研は、教材の冒頭に、あえて学習のねらいを明記せず、子どもの自由な発想を促そうとしています。

学図は、学研同様、教材の冒頭にねらいを明記しておりませんが、分冊にある設

問例を通して、考えを深められるようになっていました。

いずれの発行社も充実した内容となっているように感じます。

内容の観点で言いますと、日文は「学習の手引き」のページで、児童同士の話し合いの様子や、役割演技の様子を写真、イラストで例示しており、大変わかりやすい印象でした。

また、東書では、学習したことと生活や郷土とのつながりを関連させることができるような資料が掲載されていて、特徴的だと感じました。

#### ○高須教育長

道徳の教科化の背景には、いじめの問題や、大きく変化する社会に対応する力の育成が求められていますが、その点については、いかがでしょうか。

#### ○坂本委員

内容の程度にも報告がありますように、各社とも、いじめに関する教材を全学年で取り扱っており、問題解決的な学習に取り組むことができるような構成になっていると感じました。

#### ○秋元委員

いじめの問題で言うと、人権の取扱いも大切な視点だと思います。

どの発行社も、「生命の尊さ」を重点的に取り扱っており、その点については大差がないように思います。

#### ○高須教育長

確かにそうですね。ほかの観点ではいかがでしょうか。

#### ○真野教育長職務代理者

組織配列の観点では、各社とも、年間行事との関連を意識し、教材を効果的に配列しています。

光村は、1つの学年を3つのまとまりに分け、重点化を図っているのが特徴的です。あとは、やはり道徳科については、「道徳ノート」の有無も重要な視点ですね。

#### ○高須教育長

今回も、別冊ノートがついている発行社もありますね。

このあたりはいかがですか。

#### ○玉井委員

別冊版としてあるのが、日文・あかつき・学図ですね。

これも答申にあります。日文・あかつきは、「道徳ノート」に保護者記入欄が設けられていることで、家庭との連携を図ることができるよう配慮されています。

学図は、「きづき」という読み物教材と、「まなび」という分冊ノートによる構成になっています。

#### ○藤田委員

寝屋川市では、市独自の「道徳ノート」を活用し、先行的に実践に取り組んできた財産があります。そういった現場からの声も大切にしたいですね。

現在、実際に教科書と併用して活用していると思いますが、その点、いかがでしょうか。

**○高須教育長**

調査員である、酒井校長、そのあたりはいかがですか。

**○酒井明和小学校長**

本市独自のノートは、比較的自由な使い方ができるような構成になっています。

市全体で活用しており、授業の最後には、ふりかえりを行い、子どもたち一人一人の道徳的な気づきを記録させています。

また、家に持ち帰り保護者と連携することができるように保護者記入欄も設けています。

**○坂本委員**

活用してみて「使いにくい」という意見は、ないのですか。

**○酒井明和小学校長**

いいえ、ございません。

教員も、児童もこの道徳ノートの活用方法に慣れてきており、このノートを1つの手立てとして、評価についての研究も進んできているところです。

**○坂本委員**

市の道徳ノートは、かなり自由度の高い、記述式のノートですね。

保護者記入欄があるのは、学校・家庭・地域が一体となって、取組を進めていくためには有効ですね。保護者としても子どもと一緒に考える、良い機会になると思います。

また、経験の少ない教員も増えてきている中、日文の道徳ノートのように、ある程度道筋が示されている方が、指導による偏りは少ないようにも感じますね。

**○高須教育長**

ノートそのものについては、いろいろな考え方があろうかと思います。寝屋川市では、独自のノートを使ってきました。

教科書には、ノートがついているものもあります。そのあたりは、いろいろな考え方があろうかと思います。

さて、視点が変わりますが、学習指導要領では、よりよく生きるための基盤となる、道徳性を養うことが求められています。

今お聞きしていると、どの教科書も、学習指導要領に沿った充実した内容だともいえます。各委員より、各発行社の特徴について、御発言いただきましたが、ここからは、少し絞って議論を深めていきたいと思います。いかがでしょうか。

**○藤田委員**

私は、先ほど玉井委員が言われた、児童の話合いの様子を「学習の手引き」で示した日文、学習したことと生活や郷土とのつながりを関連させることができるような資料が掲載されている東書、この2社について、議論を深めてはどうかと思います。



ます。

**○真野教育長職務代理者**

どの発行社もそれぞれいいところがあるのですが、選定委員会からの答申では、  
日文・東書だけでなく、光村の評価も高かったように思います。

**○秋元委員**

みなさんのお話を伺っていると、私も、日文・東書・光村の評価が高いように感じます。

**○高須教育長**

今、出ているのは、日文、東書、光村の3社ですが、この3社に絞って議論していく形はいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

**○高須教育長**

それでは、絞った3社について、さらに御意見がありましたら、よろしくお願ひ  
します。

**○坂本委員**

今後、教育のIT化がますます進んでいくことは、間違いの無いことです。答申  
によれば、東書・光村は、インターネットに接続し、動画・音声教材を活用した学  
習ができる教材を配置していますね。

**○秋元委員**

確かに、私もそういった視点は重要だと思います。

他に、字の大きさや低学年の子どもでも、扱いやすい教科書の大きさであること  
も、大切だと思うのですが、いかがでしょうか。

**○玉井委員**

光村は、高学年で、比較的文字の大きさが、小さいように感じます。ただ、字体  
については、国語の教科書と同じ字体が使われており、児童にとって親しみのある  
字のように感じました。

教科書の大きさは、この3社のものは、ほぼ同じ大きさですが、他教科の教科書  
やノートの大きさと比べると、光村が同じサイズのように扱いやすいと感じます。

**○高須教育長**

ほかの視点はいかがですか。

**○藤田委員**

私は、教科書で学ぶ児童の立場で考えると、道徳科では、やはり、各教材での  
「主題」の示し方が重要な視点であると思います。

児童が教科書を開いたときに、冒頭に示されている「主題」が、児童の学びの手  
がかりになるようなものであってほしいと思いますね。

**○真野教育長職務代理者**

日文は、教材に主題や考えるべきポイント、話のあらすじなどが記載されており、

一度の読みでは理解しづらい児童にも配慮がなされています。教科書に付いている道徳ノートと一緒に活用することで、一定、指導の質がそろそろことも期待できます。

東書にも、教材の冒頭に主題が提示されており、教材最後にある2つの「考えよう」という問いを扱うことで、見通しを持った学習ができるように配慮されています。

光村も、同様の構成にはなりますが、示されている「主題」と「問いかけ」のバランスがよいように感じます。「問いかけ」も、「考えよう・話し合おう」という観点にプラスして、「つなげよう」という観点が取り入れられており、学習の広がりが期待できます。

先生方が教材を工夫できる余地もあり、指導の質を保ちながら、現在使用中の市の道徳ノートを活用した指導もしやすいのではないのでしょうか。

#### ○坂本委員

学校所見でも、光村は発問や学習の流れが明記されているということが書かれていて、先生方が指導しやすいように感じました。

#### ○藤田委員

先程申しました「主題」の示し方という視点でいえば、私は光村が最も適していると思います。

#### ○真野教育長職務代理者

現在までの市の取組を考えると、光村の教科書が、より適しているように感じますが、いかがでしょうか。

#### ○秋元委員

私も光村が良いと思います。

#### ○玉井委員

私も光村が寝屋川の子どもたちに適していると思います。

#### ○高須教育長

委員の皆様全員、光村との御意見のようです。

それでは、光村に決定したいと思いますがいかがでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

#### ○高須教育長

御異議なしと認めます。よって道徳は、光村図書を採択することに決めます。

教科書に附属している道徳ノートの活用について、今後、長期的な視点で検討していただきたいと思います。

以上、各種目が決定しました。

では、各種目の教科書を確認します。

国語は、光村図書。書写は、光村図書。社会は、日本文教出版。地図は、帝国書院。算数は、啓林館。理科は、啓林館。生活は、啓林館。音楽は、教育芸術社。図工は、開隆堂。家庭は、東京書籍。保健は、東京書籍。英語は、東京書籍。道徳は、

光村図書に決定しました。

以上をもちまして、議案第28号、「令和2年度使用小学校教科用図書の採択について」の審議を終了いたします。

ほかに報告はございませんか。

では、ないようですので、これもちまして教育委員会臨時会を終了いたします。